

大名町教会NEWS

【ホームページ】 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>

発行責任者：杉原寛信神父

【ミサ時間】 主日：9時・10時30分 / ベトナム語(第2・第4日曜日)：14時 / 英語：16時

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-7-7 Tel：092-741-3687 Fax：092-741-5107



【巡】 カトリック能古島教会 ミサ(土)18時 〒819-0012 福岡県福岡市西区能古弁当1621-12

福岡教区年間テーマ：ともに歩み 支えあっていく共同体

大名町教会年間テーマ： すべての人にキリストの光でありなさい
Be the light of Christ to everyone

12月：待降節・降誕節

※ 原則、大名町教会所属信徒のみの参列

「主の降誕祭」ミサ時間案内

24日(金) 18:00
 20:00 (アベイヤ司教司式：動画配信)
 22:00
 25日(土) 10:00 (アベイヤ司教司式)
 15:00 (能古島)
 16:00 (英語ミサ)

「神の母聖マリア」ミサ時間案内

31日(金) 18:00 (アベイヤ司教司式)
 1/1日(土) 9:00
 11:00 (アベイヤ司教司式)
 14:00 (ベトナム語ミサ)
 15:00 (能古島)
 16:00 (英語ミサ)

聖書のかち合い

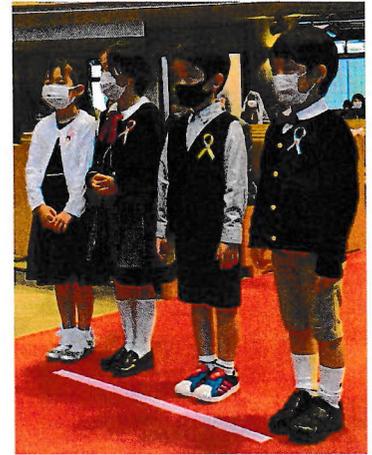
- ・指導司祭：ジョン神父
- ・日時：毎週木曜日 14時
- ・場所：大名町教会 1F 講堂

キリスト教入門講座

- ・指導司祭：ジョン神父
- ・日時：毎週木曜日(Web配信)
午前10時 & 午後7時

私の名前はルーカス神父で、1985年にポーランドで生まれました。幼い頃から司祭になることを考えていました。神学校に入学したとき、神様が私を宣教師になるように召されていることを実感しました。最初はローマで学び、その後アメリカで学び、2015年に司祭になりました。司祭になった後、私は日本に行き、宮原司教に会いました。宮原司教は、私が日本で働きたいと思っていることをとても喜んでくださいました。日本での休暇の後、私はブルックリンの司教に会い、日本で働きたいという希望を伝えました。ブルックリンで5年間働いて、その後日本に行けるようにしてくださいと言われました。しかし、4年しか経っていないのに、「日本に行くかもしれない」と連絡がありました。今考えると、これは神様のご計画だったのです。私が日本に来て間もなく、コロナのパンデミックが始まりました。私は天神のYMCAで2年間日本語を勉強していました。制約が多いので、話す練習をたくさんするのは簡単ではありませんでした。私は今、自分の日本語能力を向上させたいと思っています。また、パンデミックが早く終息して、私たちの生活が元通りになることを願っています。 協力司祭 ルーカス・レック 神父

ゆるしの秘跡：通常、毎週土曜日の午前中。それ以外にも希望される方は司祭にご相談ください。



7さい	とよしま きよか
7さい	たむら ふみの
7さい	くらかず しょう
5さい	ともう しせい
3さい	まつもと まい
3さい	ふかほり うた

11月14日(日)ルーカス神父司式のもと、七五三の祝福式が行われた。ルーカス神父は、日本で初めての七五三の祝福式であったが、緊張は見られず、子どもたちに優しく語りかけ子どもたちは神父の話に耳を傾けていた。

吉浦神学生は、教話のなかで「みなさん、ぜひ私の後輩になって欲しい」と語っていた。

これからの教会を担っていく子どもたちのために、共に祈り、支えていきたい。

♪ 主の呼ぶ声に従い、日々を生きる人は、愛と勇気に満たされその道を歩む ♪

♪ 第3回 ミサ・オルガン勉強会 ♪

10月23日(土)、大聖堂にて第3回ミサ・オルガン勉強会が行われ、福岡地区から10数名が参加した。講師は典礼でのオルガン奉仕を35年間務められている平田孝子先生。講師から「奏楽は捧げものであり、祈りに寄り添い、典礼をより豊かにするものである」という心構えをもとに、選曲方法、既存曲の使い方、アレンジ方法等が話された。タイミングや弾き方一つで雰囲気が変わるため、司祭の動きや、教会の構造などを考えての演奏の必要性も共有された。

参加者は「ただ楽譜どおりに弾くのではなく祈りに寄り添うように弾くことを知りました。自分はそんな風に弾いてるかなと振り返る貴重な時間でした。各教会での悩みや疑問、課題も知ることも出来ました」と話す。

オルガン奏者の方々の日頃の深い準備と配慮に驚くとともに、感謝があふれた。

荒牧 結花

～ 聖書講座に参加して ～

聖書週間の始まる11月21日、教区聖書部門担当のレナト神父様による聖書講座が開かれました。典礼暦C年においてミサ朗読の中で主に読まれる「ルカ福音書」と「使徒言行録」について、動画も交え、深く味わう方法を語っていただきました。繰り返し強調される言葉、例えばルカ福音書の「日々」「今日」は、「日常」が救いの現場であるという思いが現れているとのこと。また、福音書の同じ箇所を新共同訳やフランススコ会などとも読み比べることも有益ということでした。訳語の違いだけでなく、別の聖書に訳出されている語句にはイエスの慈しみを感じ取ることができる等。聖書に触れる喜びと深さを感じさせられました。

「この1年間、ルカと共にさらに聖書に親しみ、自己養成を実践してください」との呼びかけを通して、新しい典礼暦を迎える心に希望の灯をともしいただきました。

鈴木 尚美

神学院祭2021

ヨセフの心で
～私はここにおります～



動画はこちら→
ぜひご覧ください



去年はYouTubeで見ていた神学院祭でしたが、今年子ども3人と参加することができました。

教会毎の出店があると思い込んでいた食いしん坊の長男は、ないことを知った時から沈んでいましたが、当日は一番楽しんでいました。

スタートの御ミサは荘厳で子ども達も何かを感じ取っていたのか真剣に与っていました。

高見大司教様から御聖体をいただいたあとに、長男が「ママ、キリストじゃないギザギザのやつやったんやけど…」とささやきました。

「それ、司教様が割って残った御聖体を特別にくれたんだよ！」と教えると、長男は目をキラキラさせて喜んでいました。大司教様が、種を蒔いてくださったんだなと感じました。

司祭、修道女としての召命の道があることを教えるのではなく、見て、触れて、感じさせながら種を育ててあげたいなと思いました。

子ども達はミサ後、草スキーやボール遊び、神学生とのふれあいでとても楽しんでいましたし、私も長崎教区の神父様、大分教区で助祭叙階したばかりの助祭様とお会いすることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。来年も楽しみにしています！

ルチア 豊嶋 幸恵

<11月の現勢>

【転入】ようこそ！（～教会から）

ヨハネ	麻生 健	（西新教会）
マリア	千恵	
アジのフランス	真	
ミカエル	晃	（関口教会）
アントニオ	城戸 澄夫	（小ヶ倉教会）
マリア	道子	
ヨゼフ	澄仁	
マリア	杏子	

【転出】お元気で！（～教会へ）

パウロ	川崎 明	（鯛ノ浦教会）
マリア	平田 静枝	（本郷教会）

【結婚】Happy Wedding 🤰👰

マタイ	稲田 潤・木村 萌
ミカエル	平田 真吾・夏秋 匠杏
	津川 優馬・川嶋 彩花

【帰天】主よ永遠の安息をお与えください

アガタ	村中 和子
-----	-------

◆ 死者の月に思うこと ◆

12月に入り、街ではクリスマスソングが流れ始め、イルミネーションが点灯し、主の降誕を待ち望む雰囲気が出てきました。

生まれは福岡、教会での思い出は侍者奉仕。司教様や神父様の素晴らしい指導と、家族や信徒の方々の支えによって大きな実りを感じました。

11月は死者の月。今年、母が主の御元に帰りました。両親をはじめ、兄弟姉妹、信徒の方の訃報を聞くとやはり悲しいものです。しかし、今の私があるのは両親をはじめ、先祖、皆様のおかげです。感謝と永遠の安息を祈ります。苦しみ、悲しみを乗り越えて捨てた親石となって、前を向いて主の道を歩いていきたいと思います。

ヤコブ 辻村 仁

★ 11月の宣教司牧評議会 ★

【検討事項】

1. 福島家族支援実行委員会によるバザー開催確認(12/19)
2. 教区への予算申請について
→大聖堂空調工事のため2社からの見積もりを取り寄せ、詳細確認後に申請。
3. 教会事務員の雇用について
→1名退職に伴い、1名の面接を実施し採用決定。
4. コロナ 感染防止のための対応見直しについて
→感染者減少傾向ではあるが、当面は現状維持の方向。
5. クリスマスについて
→飾り付け：11月28日の10時半ミサ後実施。
人数制限：事前予約は行わない。大名町教会信徒に限定(一般の方の参列はお断り)
6. 成人の祝福式について
→1月9日の10時半のミサで実施。
7. 教会内備品整理整頓
→クリスマス飾り付け終了後実施。事前に講堂に集めておく。
8. 案内係の奉仕について
→8名の公募あり。可能なかぎり活動開始予定。ベトナム、インドの方からも奉仕の申出あり。
9. 教区報等の信徒への郵送について
→高齢者や体力的に教会に来れない方への各種情報の郵送について、次回評議会にて検討。
10. 巡礼印、大名町教会のスタンプ再作成について
11. 消火栓のランプ交換について
→消防点検にて赤色灯老朽化指摘あり。LED電球に交換。
12. 円ブリオ基金、コンゴ民主共和国の平和学習への募金活動について
13. 墓地の利用案内について
→墓地申込、納骨の手続きについて教会内での掲示要望の提案あり。
14. 防災訓練
→12月5日の10時半ミサ後に実施。
15. 1階ホールのWi-Fiについて
→必要な対処を行う。

～ 座邊師友 ～

「座邊師友(ざへんしゆう)」って言葉、ご存知でしょうか？身の回りにあるものが友であり、師であると、それから触発されるようなもの。今年も1年が終わろうとしている。コロナ禍の中、多くの人々が苦しみ、痛み、悩み、不安に陥り、光さえも見失った方もおられることでしょう。ロザリオの月、死者の月を経て主の降誕を祝う月を迎えます。目に見えぬコロナウイルスに苦しんだ1年、目に見えぬ神様は私たちにいつも沢山のことをプレゼントしてくださいます。天地の創造主が創られたものを「見なさい」「聞きなさい」と呼びかけられる主。幼い子供に、盲人に、雲の流れに、空の鳥に、野の白百合に、イチジクの葉に教えを学びなさいと。聖書の物語は、今も昔も私たちの生活におけることの有様そのもの。多くの煩いや悩みが様々な場面で繰り広げられる。そこに御言葉が響きます。「私が命じることを行うならばあなたたちは私の友である」と声をかけてくださる主。来年は福岡教区宣教司牧方針も発表される。コロナ禍、様々な規制も緩和され、師であり友である主とともに共同体活動が実り多いものとなりますように。互いに友になりたいものです。

信徒会長 F・ザベリオ 濱崎 公夫